

東由利村報

1964・5・10

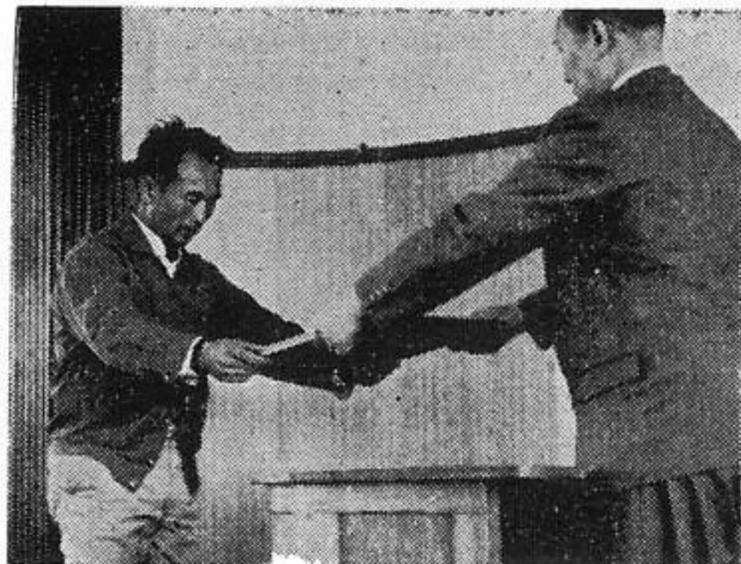
No. 84

発行 東由利村役場
編集 畑山伝二郎
印刷 KK本間印刷所

村税完納51部落を表彰

4月27日・部落長会議

4月27日、昭和39年度第1回部落長会議が開かれた。開会と共に、先づ税金完納部落に対する表彰状並びに感謝状の贈呈が行われた。今回の完納部落は51で、今年新たに完納したのは12部落で、残りは13部落未納世帯69だけとなった。



ついで村長の挨拶、村政一般の説明があり、農業構造改善事業の推進、健康な稲づくり運動などについて強い決意がのべられ、特に滞納については、5月中に断乎一掃の処置をとる方針であり、従来年度未完納の慣習になっておるが、これを改めて、納期内の自主納税に改めるよう協力を求められた。引つづき議会議長、教育委員長の挨拶あり、ついで10項目の協議をおえ、質疑応答に移ったが、村づくりに対する著るしい熱意の盛り上を見せ、部落長会議開催以来かってない活発な建設的意見がの

べられ、全村一体となって前進する気構えの溢れる中に午後1時閉会した。

【写真は完納部落の表彰】

たばこ耕作振興会総会 増産の決意を新たに

4月22日通常総会を開いた。本年の耕作者は158人、面積は17町歩を確保した。昨年の収納額は1千百万円余で、農家収入に大きな役割を果しているが、更に増反と反収をふやすため、作業の共同化、設備の充実による消力合理化を図り、栽培調製の技術を高めて事業の大発展を申し合せた。

農業構造改善の土地基盤整備事業と並行して関係河川の護岸工事並びに提防施設は是非必要なことであり、従って関係者からも強い要望があるの



蔵地区農業構造改善実施調査

で、村では5月6日由利土木事務所、同構造改善課、同土地改良課より課長以下の来村を求め村長以下関係職員、受益者多数参加の上、現地調査をした。

村ではこの調査をもとに住民と一体となって関係方面に陳情し目的の貫徹に努力することにした。

青年・婦人部などの設置促進

東由利農協理事会決める

4月23日東由利農協では役場で理事会を開き、次のことを協議決定した。

①合併後の事務について

▷被合併組合の事務引継

▷重要書類の保管々理

▷酪農、青年、婦人各部の設置これは農協指導部機構と関係諸団体との関連を考慮して、具体的な計画をたて、なるべく早い時期に組織設置する。

▷部落班の再編成

部落班の活動は今までよりも複雑になり強力にする必要があるため、これまでのような3、4戸の班ではやって行けなくなるので当然統合しなければならぬが、当分はこのままで行く。

▷蚕業指導員の設置

これまで宿農協で頼んでいた指導員は退職したが、まゆは基幹作目として、25町桑園の計画もしているから、適材を見出して設置する。

②玉米地区の加入対策

これについては全理事が、班を編成し、足を運んで納得のゆくまで話し合いをした上で、必ずまとまるように努力する。

③事務所建設について

建てることについては議論の余地がないので、敷地の交渉や設計などに取りかかる。

東由利農協機構

▷本所＝組合長＝参事

【管理課】小松正之助

(管理)小松豊子

(経理)阿部勝男

(指導)佐藤一彦

【金融課】佐々木勝義

(貯金)小松富一

(貸付金)佐々木勝義

(共済)佐藤一彦

【経済課】志村三男

(購買)小松為治郎

遠藤幸子

小野恵通

(販売)高橋総覚

(倉庫)千葉

(運送)

▷蔵支所＝小松徳蔵

【金融】(庶務)支所長兼務

(経理)支所長兼務

(金融)植田フヨ

【業務】(購買)小松清男

工藤愛子

(販売)小松喜五郎

(倉庫)小松喜五郎

▷大琴支所＝阿部太七

【金融】(庶務)支所長兼務

(経理)支所長兼務

(金融)小松一子

【業務】(購買)長谷山二郎

小松ミヤ

(販売)佐々木貞雄

(倉庫)佐々木貞雄

自作農維持資金等

申込の説明会

49年度自作農維持資金及び農地等取得資金借受申込手続きの説明会が5月18日午前9時から役場で開かれる。

申込希望者は①筆記用具②印鑑③貯金通帳④家計簿⑤借用証書など証処書類一切⑥昼食を持参の上出席されること。

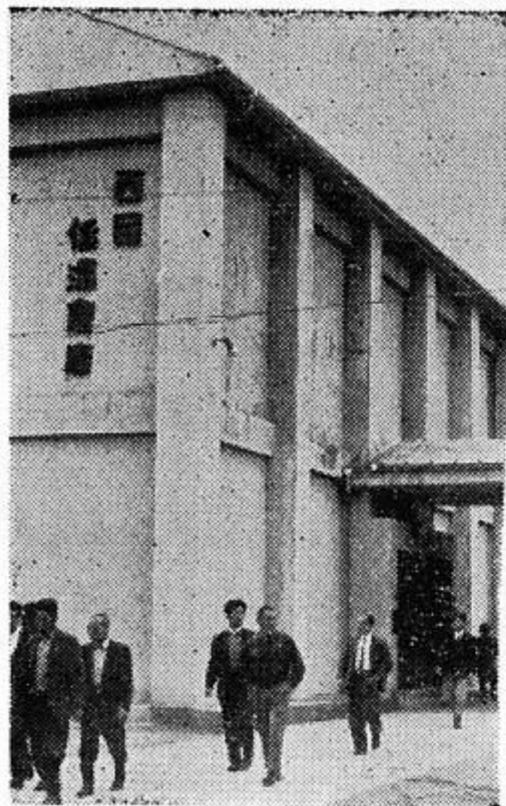
西目村・仁賀保町

農業構造改善事業視察

現在施行中の仁賀保町畑地区、構造改善事業進行中の西目村の実体を見学するために、5月4日村長以下構造改善事業担当職員、推進委員、農業委員、地区関係者60名が同行した。

【西目村の状況】

役場を見てから公民館を見学し、そこで斎藤村長の西目村の生い立ち、逸見、今村、佐々木村長三代の治績より、その基礎の上にこれまでやって来た村づくりの実際、今年度の事業計画、更に草地造成一酪農一自立農家育成一耕地の基盤整備と一連の計画を詳細に数字をあげて具体的に説明され、おわ



りに、村民一体となって実効をあげれば、政府を動かして協力させることが出来ると激励された。

ライスセンター 其他の施設を見る
【畑、改良地区の.....

【写真説明】

(上)は西目ライスセンター (中)西目村公民館で斎藤村長より事業推進状況の説明を聞く一行 (下)仁賀保町畑地区基盤整備事業の現地視察

状況】

旧小出村も鳥海山麓に近い、畑、東畑、桂坂の三部落40町歩の基盤整備事業である。これと共に白雪川支流の2億余円の国営護岸工事と重なって正に豪快そのものである。段丘地にくわえてこのあたり仁賀保石の産地でいたるところに巨大な石があらわれ、難工事を思わせるが、工費反当4万9千円でうち27町歩は今年の田植に間に合うとのことであった。「こんなところでもやれば出来るんだ」これから見ると、我が村の工事などはとみんなが自信を深めたことであった。

自衛隊の診療班来村

5日16日・蔵小学校で

陸上自衛隊東北方面第6師団では5月15日から5日間にわたり、県内4カ所で医者がないところを中心に、衛生訓練をかねて大がかりな辺地医療を行う。これは知事の要請にもとづき、同隊が民生協力の一つとして行うもので、編成は山形、秋田両県に駐とんしている第6師団衛生部隊約80人、これは東北では昨年の山形県につづいて2回目、秋田県では4カ村で、幸にも本村はその一つにはいたので、次によって料診療を行うことになったから、なるべくたくさんの方々の御利用を望みます。

- ▷開く日時、5月16日午前10から午後3時まで
- ▷開く場所 蔵小学校
- ▷編成 山形、秋田駐とん第6師団衛生隊、約80名
- ▷診療科目 婦人科の外全部なるべく多数が診療を受けるため隊の輸送車を利用ねがう。

第5区連合PTA総会

教育環境浄化に熱意

4月23日老方小学校で総会を開き予定行事を一先づおわってから、今回は教育委員会、公民館側の出席も求めて「PTAについて」をテーマに、教育環境をととのえるための話し合いをした。要旨次のとおり

① 要望事項

村はもっとPTAを重視し、社会教育の面を大きく担当させると共に、予算の裏付をするよう、教育委員会に要望する。

② 単位PTAの課題について
両親と教師との結び付きの場であるPTAでは、よい子どもを育てあげることが第一の目的であることはいうまでもない。

そのために解決せねばならぬ色々な問題があるけれども、最も大事なものは教育環境の浄化であり、しかもこのことは各学区とも問題は大体共通していると思う。これに対し各単位PTAがバラバラに努力するのではなく、目標を定め歩調をそろえて、身近かな問題から一つ一つ解決して、これを積み上げることにより、社会教育上にも大きな効果を期待出来ると思うし、このことこそが連合PTAの使命ではないか。ということになり各単位PTAの課題を拾って

見た。

宿小・学力向上一本
法内小・道交法を守ること、これは重にPTA

健康と衛生に重点を置く、手洗いとおじぎ

老方小・えしゃくと返事、大人達にも

玉米小・あいさつ、重に子ども会で取上げる。

学力向上のため、幼児期からの注意力集中などの躰

蔵小・やさしいことばを使うように社会性を養うこと

玉中・学力の向上、自分から進んで心を打ち込む力が足りない。

卒業後の進路など考えたらこんなことではいけないと思う

下中・積極性が足りない。

礼法が必要な機会にうまく出ないで、日常の基本的な生活様式の訓練をして貰いたい
(就職者よりの要望)

一般にことばの問題が大きく取上げられたが、よいことばになれることは勿論必要だが、いかなる場面にも即応出来る、ことばに対する自信と積極性を身につけさせることが、より根本的な問題ではないか。

(まとめ)

このような共通課題をPTAのあるたびに検討し周知させ歩調をそろえて解決に努力するような態勢をつくることにしよう。

東由利村婦人会合併総会での知事夫人のお話の要旨。

○この村えお伺いするのはこれで三度、流れ清らかに山うるわしく空気もおいしく感じます。この中に住まわれる皆様は、すこやかに美しくまことに明るい。ほんとに心からなる親しみを覚えます。

子どものしつけ

婦人の生命は母にあり、よき母の使命はよい子どもを育て上げることにあると存じま

すが、今の子ども

は口先では随分利

口な、大人顔まけ

のことを申します。そんな時お母さんは、それを感心してほめてばかりいるようではいけないと思います。やはり母として確信をもって、しつけにはちゃんとした筋を立てて、それをつらぬくだけのきびしさを持っていなければならないと存じます。

○洋行感想

①イギリス、始めにロンドンに着きました。ここは静かな紳士の国

ですのに、飛行場に着いたばかりの事ですが、人員点呼の時に余り張り切り過ぎて、みんなが元氣のよ過ぎる声を出したので、むこうの係の方からあたり迷惑なことをたしなめられました。公德心は声にもあったのだと気づかされました。ここで目につくのは、老人殊に老婦人の身だしなみのよいのは全く感心させられました。おとしよりの身だしなみは好ましいこ

祈りある生き方

□□□知事夫人講演要旨□□□

とであり、深く心すべきだと思いました。

②スイス、この国はほんとにすばらしく美しい国でした。観光客でホテルが満員でお困りの方は、刑務所におとまりなさいと親切に教えられて変に思いましたが、犯罪者がいないので刑務所はいつもガラ空でと聞かされて、さらに驚ろいたことでした。犯罪のない国、この国の人づくりは、教会と家庭と

そして特にうるわしい環境のせいだそうです。環境の美化、ほんとに大切なことだと存じます。

③イタリア、教会の前に日本のお寺のナデ仏のような像がありました。その前で見えた四人づれの一家族、小さな子どもが、敬けんなお祈りのあと、静かに像に指をふれてそれを自分の唇にあてるのです。四人ともそうして静かに立ち去って行きました。人造りは教会と家庭の実例をまのあたりにして、深い感動に打たれました。

○羽仁もと子新年のことば（これはどうぞお書きになって下さい）思想しつつ、生活しつつ、祈りつつ。日本の現状から特に婦人に祈りある生き方をおすすめいたします。我が子に祈りを捧げつつ、立派な社会人に育て上げられますよう、合同して新しく誕生した皆様の婦人会の、仲よく美しく育ちますよう、心からなるお祈りをささげて、私のささやかなお話をおわります。

はじめて90%を超す

38年度村税納付状況

村 税			
年度	37	38	備 考
調定額	27,847,558	25,297,837	
収入額	24,516,595	23,011,973	
未納額	3,330,963	2,285,864	
歩 合	88.0%	91.0%	3%上昇
国 保 税			
年度	37	38	備 考
調定額	6,962,449	6,815,780	
収入額	5,954,200	6,185,284	
未納額	1,008,249	630,496	
歩 合	85.5%	90.7%	5.2%上昇
未納額調			
年度	37	38	増 減
村 税	3,330,963	2,285,864	△ 1,045,099
国 保 税	1,008,249	630,496	△ 377,753
計	4,339,212	2,916,360	△ 1,422,852

年度なかば800万円を超す滞納額をかかえていた村税の納付状況は村民の懸命な努力によって年度末には村民税・国保税合せて昨年より3%も多い91%という納税成績を上げることができた。

この90%を超したのは新村はじまって以来最高の成績であるが、まだ10分の1は滞納とい

うこととにまだまだ問題があり、これをふみ台にして新年度はぜひ100%完納するようにしたいものである。

公民館運営審議会委員に20氏を委嘱

本村公民館運営審議会委員は任期満了となったので、新たに次の20氏が教育委員会より委嘱された。

【学校長】木元幸吉（住吉小）多田平吉（玉米小）佐々木武（蔵小）小松長左工門（法内小）木島正造（宿小）工藤浅彦（袖山小）

【関係機関・団体代表】小松真一（農業対策審議会）梅津二三雄

（農協）小笠原武一（選管）小松与惣雄（PTA）小松幸子（民生委員）伊東与吉（老人クラブ）志村金之助（子ども会世話人）阿部マサエ・佐藤カツ（婦人会）小松幸夫（青年会）

【学識経験者】佐藤松之助（玉米中）戸村忠（下郷中）渡辺福造（田代）小野作右工門（蔵新田）

公民館主事に中村氏

本村公民館主事、佐々木二郎氏（前蔵小学校長）は転出されたので、その後任に中村松之助氏（老方小学校長）が教育委員会より委嘱された。

教育関係者懇談会

4月20日村では第4回教育者懇談会を催した。この会は先生を尊び平素の労に感謝するためのもので、小中高保育園の職員114名、教育関係者22名を招待して行なわれた。

村長の教育方針と村勢一般の説明につき、議会議長、教育委員長、公民館長よりそれぞれ感謝と村教育に対する要望が述べられ、教職員代表の謝辞があって懇談に移っ

たが、ふだん12校に分れていることも、赴任間もない人々も、こうして一堂に会してはなんの



へだてもなく、主客一体のなごやかな話し合いとなり、合間に各校チームのコーラスや寸劇など、新

鮮とユーモアにあふれる演出などもあって、和気あふれる中に、村教育向上の決意を新たにした。

農村公衆電話開通

よろこびの茂沢部落



5月6日茂沢には住民多年の待望である電話が開通した。これは村長の無電話部落全面解消の方針に対し郵便局長のたゆまざる協力により、次々に各部落に電話が引かれた中に、戸数が少いために実現がおくれていたもので、それだけに部落民のよろこびも大きく、局長、村長、工事関係者等参列、部落民の歓声の中に開通式が行われた。本村の無電話部落は善徳3戸、倉4戸、八塩開拓、蒲台2戸、一の沢1戸

玉米中修学旅行 初めてのバス利用

玉米中学校生徒99名は職員6名に引卒せられて、4月27日から5月1日まで、東京、横浜、日光、松島などを見学して来た。このたび

は初めてのバス旅行なので、色々心配されたことであったが、引卒の先生に汽車旅行とくらべての感想を聞いて見た。



酪農婦人講習会

①汽車旅行よりも子どもを掌握する苦勞が少なかった。

②99人を3台に分乗させたので、夜眠る時も横になることが出来たので、案外らくであった。

③バスには便所がないので不便であったが、時々とまってもらった。

村酪農連盟では野幌高等酪農学校教諭三谷重野先生を招いて、婦人酪農講習会を開いた。演題は「目に見えないところに一度目をむけましょう」というので、さすが全国的に講師として招かれてあるく方だけに、一々深い体験を通じての豊富な内容で、午前10時より午

明治学院長 武藤富男先生のこの論説は、日本の前途にはっきりした目

標の定まっていない現代に於て、新日本の指標をはっきり示した、まことに貴重なものと思うので、その要点をのせることにいたします。

○
愛国心とは、外敵との対立を意識することにより、引き起される国民的あるいは、民族的連帯の感情または情緒である。

今ここに、日本における過去1世紀間の愛国心の移り変りを辿ると
1、まず黒船の来航が愛国心を呼び起した。攘夷も開港もつまりは愛国心によって動いた。

2、日清日露の後には、全国民の抗敵心と、粘り強い連帯意識が動いた。

この愛国心は戦争をきっかけにして、日本人の心の中に定着し、国家至上主義と結びついた。したがってこの愛国心には

感情的には 外敵に対する憎み
思想的には 民族的 高慢
道徳的には 国家的 強欲
を含んでいた。

こうした愛国心は、太平洋戦争において最高潮に達し、敗戦降伏に

後時4時ま、飽くことを知らぬ講演であったが、要約すれば平素何気なく見過ごしてしまうような事ながらも、深く掘り下げて考えて見ることにより、自分を高めひとを導くような、大きな力のもとに

愛国心あれこれ

新しい日本の指標

よって打ち砕かれた。そしてこの3つの不純物と共に、純粋なものすなわち愛国心の「核」～国への愛、までも押しひしがれた。外敵に占領され、圧倒された日本人は国敵への対抗意識を失うと共に、国家への豊かな愛情と民族的連帯意識までも失ってしまったのであった。それが今日の、指標の定らない、バラバラの日本の姿なのである。さて最早大きな戦争があるまいという時代に、スポーツの外に愛国心を刺戟するような外敵というものがあるであろうか？。ある。それは只今の自由貿易のもとに於ては、日本の敵は西ドイツ、イギリス、アメリカ等であろう。これらの敵とわれわれは、東南アジアやアフリカなどの低開発国を戦場として戦わねばならない。またわれわれの国に攻めて来るのは、オーストラリアの乳製品や、アメリカの穀物などであろう。武力戦争は相手を殺し、相手を苦しめるが、経済戦は良い品を安く売る競争であるから人を喜ばせることの戦争である。

武力戦では士氣と兵器と戦略が重

なるもので、人間も動物もこうした力によってよく育つ、それはまじめで神経のこまかい婦人の受持つ分野であるという趣旨であった

【写真は婦人酪農講習会】

んぜられる。士氣はこちら側では道徳力であるが、相手に対しては残忍

性、野獸性を發揮することが求められる。兵器は、智力、技術力、生産力の結晶である。

経済戦では徹頭徹尾道徳力がものをいう。味方のうちは勿論、敵に対しても常に道徳的であらねばならない。武力戦においては、相手に対する詐欺は、戦略としてほめられるが、経済戦では最も憎むべき悪となる。商品は武力戦での兵器に相当し、智力、技術力、生産力の結集である。

われわれは今後、この経済戦を戦って行かねばならない。それは国民の総力を挙げての戦いであり、すべての者が、粘り強い連帯意識をもって参加せねばならぬ。農業構造改善事業なども、こうした根底の上に立たなければ、ほんとうに生きて来ない。

新日本を築く愛国心は、この経済戦を契機として起らなければならない。そして、その、愛国的熱情は、深い智識を伴ったものでなければならぬ。それは、道徳力と知力と技術力でなければならない。

国民年金保険料

毎月 150円
100円